

ながのご縁を  信都・長野市

健闘! 市立長野高等学校

～全国高校サッカー選手権大会初出場～

第100回全国高校サッカー選手権大会の長野県大会決勝において、ともに長野市の市立長野高等学校と長野日本大学高等学校が対戦しました。どちらが勝っても全国大会初出場となる県大会史上初の長野市勢同士の対戦となり、市立長野高等学校が3対2で、全国大会への切符を手に入れました。長野県代表として公立校が出場するのは24年ぶり、北信勢では初めてとなる快挙です。

全国大会初戦は12月31日、京都府代表の東山高等学校と対戦し、持ち前の最終ラインからのパスサッカーを展開しましたが、0対2で惜敗。最後まで持ち味を生かした見応えのあるゲームでした。

市立長野高等学校の健闘をたたえとともに、議会として市内スポーツ団体の今後の活躍を期待し、応援していきます。

ながの だより 市議会

令和3年
12月定例会
NO.117

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2～4
- ◆市政に関する質問の要旨…5～13
- ◆常任委員会のうごき……………14～15
- ◆特別委員会のうごき……………裏表紙

初めての大会で最後まで全力を出し切った市立長野高校イレブン



全国大会での試合後、これまで切磋琢磨してきた仲間とともに記念撮影



【ボアルース長野フットサルクラブ】クラブ名のボアルースは「BOA(善い) LUZ(光)」の意。長野県全体に善い光が射しますようにと願いを込め、フットサルを通じ、長野県に活力を与えることをめざして、皆様とともに歩んでいきます。

市議会定例会

会期
12月2日
12月20日

一般会計45億2,904万5千円を補正

一般会計予算総額は1,636億1,575万1千円に

12月市議会定例会が12月2日から12月20日までの十九日間の会期で開かれ、令和3年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました(3〜4頁参照)。補正予算など、主な議案の概要について紹介します。

補正予算の内容

12月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに四五億二千九百四万五千円を追加し、補正後の予算総額は一千六百三十六億一千五百七十五万一千円となりました。主な内容は次のとおりです。

◆新型コロナウイルス感染症関連

子育て特別給付金に要する経費
〔国の経済対策〕

国の経済対策に係る18歳以下の子育て世帯に対する給付金(一人当たり五万円)に要する経費が追加されました。(二八億一、五〇〇万円)

ながの子育て応援給付金に要する経費

〔本市独自の子育て支援策〕

本市独自の、低所得の子育て世帯

に対する給付金(一人当たり五万円)に要する経費が追加されました。(三億三、六三〇万円)

地域応援クーポンに要する経費

商店街などの団体内店舗で利用できる、千円以上の買い物をしたときに使える五百円クーポン券付きチラシを作成、配布することで、地域内の消費を喚起し、地元商店等を支援するための経費が追加されました。(一億六、五二〇万円)

地域応援キャッシュレス決済促進に要する経費

キャッシュレス決済を利用して買い物をした場合に、決済額に応じてポイント還元することで、キャッシュレス決済の促進と、市内事業者を支援して消費喚起を図るための経費が追加されました。

市内店舗等感染防止対策補助金に要する経費

市内の店舗・宿泊施設・事業所が実施する感染防止対策に係る経費に対し、補助するための経費が追加されました。(一億三、四五〇万円)

路線バス・地域鉄道運行支援に要する経費

地域公共交通維持のため、市内を運行するバス事業者及び鉄道事業者に対する支援に要する経費の増額分が追加されました。(九、七七三万二千円)

学校教育活動感染症対策に要する経費

コロナ禍における学校の教育活動維持のため、小・中学校及び市立長野高校の感染症対策に必要な衛生用品の購入等に要する経費の増額分が追加されました。(一、一七五万円)

◆その他

生活困窮世帯灯油購入費助成金に要する経費

原油価格の高騰を踏まえ、高齢者等(市民税非課税世帯)に対して灯

油の購入代を助成(一世帯当たり上限五千円)するための経費が追加されました。(四、八〇〇万円)

災害復旧に要する経費

8月豪雨等により被害を受けた道路の復旧に要する経費の増額分が追加されました。(二億四、五〇〇万円)



令和3年8月豪雨により被害を受けた市道(大岡地区)

主な議案の内容

長野市勤労者女性会館しなのき設置及び管理に関する条例の一部を改正

長野市働く女性の家を廃止すること及び長野市勤労者女性会館しなのきが新たに行う事業を定めること並びにしなのきの指定管理者が行う業

12月定例会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対
※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否					議決の状況		件名	会派別賛否					議決の状況				
	新 友 会	改 革 ネ ット	共 産 党	公 明 党	無 所 属 A				無 所 属 B	新 友 会	改 革 ネ ット	共 産 党	公 明 党		無 所 属 A	無 所 属 B		
市長提出議案等(63件)	第107号	○	○	○	○	○	×	可決	市長提出議案等	第113号	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第108号	○	○	○	○	○	×	可決		第114号	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第109号	○	○	○	○	○	○	可決		第115号	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第110号	○	○	○	○	○	○	可決		第116号	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第111号	○	○	○	○	○	○	可決		第117号	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第112号	○	○	○	○	○	○	可決										

←4頁に続く

務の範囲を見直すこと等に伴い、改正されました。

長野市国民健康保険条例の一部を改正

健康保険法施行令等の一部改正により出産育児一時金等の支給額が見直されるため、長野市国民健康保険についても同様に措置すること及び国民健康保険法施行令の一部改正により未就学児の保険料の軽減措置が講じられることに伴い、改正されました。

長野市立博物館条例の一部を改正

ミューゼ蔵を廃止することに伴い、改正されました。

長野市特別市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正

長野市住宅対策審議会の答申に基づき、旧長野市職員住宅を住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で貸与する特別市営住宅として設置することに伴い、改正されました。

長野市七瀬住宅の設置及び管理に関する条例を制定

長野市住宅対策審議会の答申に基



今春のオープンに向けて工事が進む「森の駅Daizahoushi」

づき、中堅所得者、本市に移住する者、大学等を卒業したのち本市または本市に隣接する市町村の区域内で就労する者等に対し、市街地に所在する住宅を賃貸するため、長野市七瀬住宅を設置することに伴い、制定されました。

長野市飯綱高原観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正

長野市飯綱高原交流拠点施設の供用を開始するため、交流拠点施設に係る利用時間、利用料金等を定めること、長野市飯綱高原キャンプ場に

係る利用料金を見直すこと等に伴い、改正されました。

長野市消防団員の定員及び任用等に関する条例及び長野市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正

長野市消防委員会の答申に基づき、長野市消防団員の定員を見直すこと及び大規模災害団員制度その他の機能別団員制度を導入すること並びに団員の報酬を見直すこと等に伴い、改正されました。

長野市過疎地域持続的発展計画の策定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、令和3年度から8年度まで過疎対策事業債を活用した過疎対策事業を実施するため策定されました。

人事案に同意

教育委員会委員に近藤守氏(再任・吉田一丁目)を任命すること、公平委員会委員に寺澤正人氏(新任・篠ノ井岡田)を選任すること、固定資産評価審査委員会委員に駒津善忠氏(再任・豊野町豊野)を選任することに、それぞれ同意しました。

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況			
	新友会	改革ネット	共産党	公明党	無所属A			無所属B	新友会	改革ネット	共産党	公明党		無所属A	無所属B	
第118号 七瀬住宅の設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第147号 若穂多目的広場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
第119号 市立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第148号 市営健康レクリエーションセンターほか1施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
第120号 市立公民館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第149号 城山公園ほか7施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
第121号 市立博物館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第150号 権堂イーストプラザ市民交流センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
第122号 少年科学センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第151号 青少年錬成センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
第123号 消防団員の定員及び任用等に関する条例及び消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第152号 篠ノ井交流センターほか7施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
第124号 過疎地域持続的発展計画を定めること	○	○	○	○	○	○	可決	第153号 市道路線の認定、変更及び廃止	○	○	○	○	○	○	可決	
第125号 地方独立行政法人長野市民病院第3期中期目標	○	○	○	○	○	○	可決	第154号 工事変更委託契約の締結(浅川第一排水機場災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	可決	
第126号 土地改良事業の施行	○	○	○	○	○	○	可決	第155号 教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	同意	
第127号 土地改良事業の施行	○	○	○	○	○	○	可決	第156号 公平委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	同意	
第128号 信州新町水防会館の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	第157号 固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	同意	
第129号 犀峽斎場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	議案承認(1件)	第10号 専決処分の報告承認を求めること(市立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	承認
第130号 勤労者女性会館しなのきの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	報告(11件)	第37号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	報告月日 12月2日						
第131号 石川老人憩の家ほか4施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第38号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)							
第132号 湯福老人福祉センターほか3施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第39号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)							
第133号 豊野老人福祉センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第40号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)							
第134号 三陽老人福祉センターほか10施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第41号 専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)							
第135号 松代老人憩の家の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第42号 専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)							
第136号 地域活動支援センターこぶしの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第43号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)							
第137号 もんぜんぶら座子ども広場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第44号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)							
第138号 北部勤労青少年ホームほか3施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第45号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)							
第139号 若里多目的スポーツアリーナほか1施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第46号 専決処分の報告(施設管理上の事故による損害賠償額)							
第140号 飯綱高原南グラウンドほか4施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第47号 専決処分の報告(施設管理上の事故による損害賠償額)							
第141号 保科温泉ほか1施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	議案提出議案(1件)	第21号 ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	可決
第142号 戸隠交流促進施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	請願(2件)	第17号 ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める請願	○	○	○	○	○	○	採択
第143号 戸隠交流集会施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		第18号 新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める請願	×	○	○	×	×	○	不採択
第144号 中条地域振興施設やきもち家の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	陳情(2件)	第4号 長野市観光に関する陳情	報告月日 12月2日						
第145号 市営城山テニスコートほか1施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	第5号 長野市少年科学センターに関する陳情書	報告月日 12月13日							
第146号 市営茶臼山運動場ほか4施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決									

市長提出議案等(63件)

会派別所属議員名

会派名等	議員数	所属議員名						会派名等	議員数	所属議員名		
新友会	19	小泉 栄正	三井 経光	小林 義直	寺沢 さゆり	若林 祥	公明党	5	近藤 満里	小林 秀子		
		西沢 利一	手塚 秀樹	宮崎 治夫	松田 光平	市川 和彦		満里 英雄	勝山 秀夫			
		北澤 哲也	金沢 敦志	和田 一成	桜井 篤	青木 敏明		松井 堀内				
		加藤 英夫	グレート無茶	箱山 正一	西脇かおる							
改革ネット	7	松木 茂盛	塩入 学	布目裕喜雄	倉野 立人	鈴木 洋一	無所属A	1	小泉 一真			
		鎌倉 希旭	東方みゆき									
共産党	6	野々村博美	阿部 孝二	佐藤久美子	黒沢 清一	竹内 茂	無所属B	1	小林 史子			
		滝沢 真一										

質問の要旨

12月定例会本会議では二十二人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

代表質問

新友会 小泉 栄正

問 市長が公約で表現された「守る」「育てる」「輝く」都市像はどのようなものか。また、市長がめざすビジョンと総合計画との整合性やアップデートの考え方を伺う

市長 市民が生き生きと健康で暮らすことができ、長野市に住んでいることに幸せを感じ、誇りがもてるまちづくりをめざす。「守る」は、安心して暮らせる社会をつくること、「育てる」は、未来をつくる子どもたちをしっかりと育て、産業の活性化や文化芸術スポーツの振興により活気のあるまちづくりを進めること、「輝く」は、市民が幸せを実感し、全ての市民が輝く長野市をめざすことを表す。また、まちづくりのビジ



長野市初の女性議長として議事を進行する寺沢さゆり議長

ョンとして、健康と幸福を合わせた「健幸」が見直され、市民一人ひとりが体現できる、健幸増進都市をめざすことで、総合計画に掲げる幸せ実感都市の実現につながると考える。

問 市長は様々な市政の課題に対するこれまでの取り組みをアップデートしていきたいと言われている。市長の公約実現に向け、政策を新年度予算にどのように反映するか。また、補正予算案に対する市長の思いと、新年度予算編成への意気込みを伺う

財政部長 人口減少と少子高齢化による税収の減少や増加する社会保障関係経費、公共施設の老朽化対策など健全財政を脅かす要因を抱えて

いる。事業の選択と集中で政策効果の高い支出に徹底し、行政のスリム化、効率化を進め、健全財政の維持を図る。市長公約の基本施策を含め、市内経済回復につながる事業、将来を見据えた事業を積極的に推進する。

市長 補正予算は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世代への支援と落ち込んだ市内経済を回復したい思いで編成した。新年度予算編成は公約を踏まえ、行政の安定性、継続性を保ちつつ、私のカラーや今まで培ってきた経験も生かし、施策や事業についてアップデート、バージョンアップしていく。

問 育児の悩み、発達障害、貧困、教育など、子どもに関する相談が必要な家族のためワンストップで相談を受けることを基本とした、子育て総合支援センター設置の考えは

市長 子育て支援策の一つとして育児の悩みや教育など、子どもに関する相談にしっかりと対応できる窓口を考えている。子どもの育ちや教育に関する相談も含め、各相談支援機関が連携、協力し、どこに相談しても集約された支援・相談につながるワンストップの仕組み等、子どもの支援に係るセクションが一丸となって

子育て総合支援センターとしての機能を発揮する仕組みを検討する。



保護者が訪れやすい雰囲気レイアウト変更が検討されている市役所第二庁舎2階の子ども未来部

問 中山間地域に暮らし続けるための持続可能な地域づくりは喫緊の課題。今後の中山間地域への施策の展開について見解を伺う

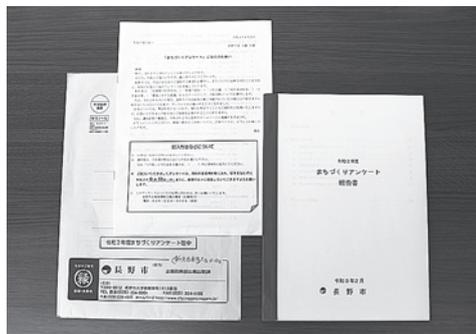
市長 策定中の第三次やまざと振興計画では、生活の質を確保しながら将来にわたり中山間地域で暮らし続けられるような地域づくりを進めることをめざす。中山間地域振興については、今まで以上に庁内連携を強化するとともに、地域住民の意見を聞きながら、一丸となって粘り強く取り組む。

改革ネット 布目裕喜雄

問 課題解決のための具体的な方策が希薄だ。市民の必要度、満足度に照らして市民益を高めることが必要。加藤市政の何を引き継ぎ、何をアップデートするのか

市長 市民サービスと市民負担についての基本的な考え方を大きく変えることなく、健全財政の維持を継承する。市政運営を進める中で、市民益の向上のために改善の余地があるものについては、適宜アップデートしていく。

問 まちづくりアンケートでの市民が求める施策優先度に沿うめりはりの利いた重点的な政策・施策展開を



無作為抽出により毎年5,000人に送られているまちづくりアンケート。報告書は市ホームページからダウンロードできる

それが市政への信頼度を高め、幸せを実感できるまちづくりの支えとなる。「市民に一番近い市長をめざす」と述べた市長の問題意識を問う

市長 できるだけ多くの市民と直接触れ合い、声をしっかりと聴き、一番距離感の近い市長になりたいと述べたもの。まちづくりアンケートをはじめとする市民の声を丁寧(ていねい)に拾い上げることを大事にしていきたい。

問 二〇五〇年CO₂排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の構築を目標とする第三次環境基本計画の策定を機に、計画のエッセンス、市民の取り組み目標を盛り込んだ市独自の気候非常事態宣言の発出を提案する

市長 気候非常事態であることを包含した二〇五〇年ゼロカーボン宣言の発出を検討している。宣言は市単独ではなく、本市がリーダーシップをとり、長野圏域九市町村の共同宣言としていく。

※長野圏域九市町村：長野地域スクラムビジョンに基づき、広域連携の取り組みを進める三市四町二村（長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、信濃町、飯綱町、高山村、小川村）のこと。

問 子どもの権利条例の制定を改め

て求める。加藤市政では制定する考えがない姿勢を明確にできたが、新市長の感性に期待する。見解は

市長 長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例により、子どもの人権救済のための調整機能が既に確立されており、県全体で子どもも支援を総合的に推進し、子どもの最善の利益を実現できていると捉えている。県条例を実質的に活用し、子どもたちの権利を守っていく。

問 性の多様性を認め合う同性パートナーシップ証明制度の早期導入を求める

市長 多様性を尊重する意識は着実に広がっており、当事者や市民の意見を聴き、制度を導入した自治体の状況も参考に、令和4年中を目途に導入していきたい。

※同性パートナーシップ証明制度：パートナーシップの関係にある同性同士を二人を、自治体が婚姻に相当する



る関係と認めるもので、法律上の効果は生じないが、病院で家族として扱ってもらえる等、社会的に証明する制度。

問 子育て世帯の経済的負担の軽減を求める声に応えたい。ゼロ歳児のおむつ代を支援する赤ちゃんおむつ事業の創設と子ども医療費無償化の高校生18歳までの拡充を提案する

市長 乳児のおむつ代支援は、将来にわたり長期的な支援になることも想定されることから、必要性や財源等について慎重に考える必要がある。現在のところ、実施する予定はない。子どもの医療費無償化を高校三年生まで拡大した場合には、現行の受給者負担金五百円の場合で年額約一億五千万円の経費増が見込まれ、増額は県の補助対象外となることから市の一般財源に大きな影響を及ぼす。対象範囲の拡大は慎重に検討していく必要がある。

共産党 野々村博美

問 荻原市長は平和の祭典のオリンピックで金メダルを獲得。憲法九条への思いは

市長 本市は平和都市宣言をしており、憲法九条が掲げる戦争の放棄を



ふれあい福祉センター内の長野市社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、市とともに地域福祉ワーカーをバックアップする

強く訴え、全世界の恒久平和を求めている。憲法が定める平和という基本原則を引き続き追求する。

問 策定中の第四次長野市地域福祉計画によると、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を二名配置、今後七人まで増員する計画となっているが、地域福祉ワーカーの負担軽減にはつながらないとする意見がある。今後、地域福祉ワーカーの雇用のあり方が検討されるが、待遇改善の見通しを示しながら現場の声を把握して進めるべきでは

保健福祉部長 地域福祉ワーカーの負担感が大きくなっているため、CSWを市社協に配置するほか、高齢

者、障害者、生活困窮者等の担当者チームによる（仮称）地域福祉ネットワーク会議などの開催により、今まで以上に手厚く支援していく。雇用は、レベルの均一化が図られるように市社協への切り替えを検討していく。処遇は、雇用条件が様々なため、市社協、住自協と調整し、適切に対応していく。

※コミュニティソーシャルワーカー（CSW）：地域と人を結びつけ、生活課題支援や公的支援制度の活用調整、支援のための新しい仕組みづくりのコーディネートなどを行う人。

問 国連子どもの権利委員会は、日本政府に何度も競争主義的教育制度の改革の必要性を指摘している。社会と政治の大きな流れの中で、いじめ、不登校、校内暴力、自殺が増え、さらにコロナ禍は心と体に甚大な影響を与えた。市議会では子どもの権利条例を求める質問が繰り返されてきたが、市は、長野県未来を担う子どもの支援に関する条例があり、市独自のものは必要ないという立場だった。しかし今、多くの子どもが苦しんでいる現状を前にそれでいいのか。早急に条例の制定を求めるが

市長 県の条例で子どもの人権を救済する調整機能は確立され、本市の

子どもを含めて子ども支援を総合的に推進し、子どもの最善の利益を実現できていると捉えている。来年度開設予定の子育て総合支援センターの相談で人権侵害の懸念があるものは、県の支援センターにつなぎ、救済を図る。

問 オリンピック・パラリンピックに対して市民が熱狂的に支持する機運はない。夢よ再びという感覚での二〇三〇札幌冬季五輪招致活動への協力はいかなるものか。また、計画にはそり競技会場として長野市のスパイラルの使用が正式に盛り込まれているが、スパイラルの再稼働には非常に経費がかかる。長野市に財政負担が全くないのか

市長 一九九八年の冬季五輪・パラリンピック開催都市として、札幌市の招致活動にはできる限り協力したい。簡素で持続可能な大会にしたいとする札幌市の方向性に共感し、スパイラルの使用について覚書を締結した。東京二〇二〇大会は感策対策を徹底し、大成功のうちに閉幕した。スパイラルでのそり競技の開催は地域の活性化にもつながる。再稼働の経費負担は、覚書において施設整備費及び稼働にかかる運営費について



札幌市が公表した2030オリンピック・パラリンピック冬季競技大会概要(案)の会場配置計画に盛り込まれた長野市のスパイラル

組織委員会が負担し、本市は原則負担しないと規定されている。

公明党 小林 秀子

問 市長は世界的な知名度を活かし本市を売り込むと力強く語り、有言実行している。トップセールスの今後の展開に期待が高まるが戦略は

市長 豊かな自然や魅力的な観光地など多様な地域資源を国内外に紹介し、本市にきたい、住みたいという思いが醸成され、交流人口や移住・定住の増加、本市の産業全体の振興につながることを期待している。アスリートとして世界を転戦する中、冬季オリンピック開催都市の知名度



東京交通会館にて長野市産りんごのトップセールスをする
荻原市長（令和3年11月20日）

の高さを実感しており、世界の長野として輝きを増すよう努力する。

問 未来を担う若者たちとの（仮称）SDGs未来会議を提案されている。具体的にどのように進めるか

市長 SDGsとは何かを知り理解を深めることが大切。気候変動による地球温暖化、自然災害の頻発など世界で危機感が共有され、年々SDGsに対する市民の関心、認知度も高まっている。今、世界はこれまでの常識やルールにとらわれず、柔軟な発想と創造力で新しい社会を切り開いていく時代の転換期にあり、変革に果敢にチャレンジする若者の力は未来の長野市を創る上で不可欠。

公約に掲げた若い世代の声を反映させる仕組みとして、スマートシティNAGANOを推進するコミッションでZ世代との定期的な意見交換や、実現したいアイデアの事業化を後押しするためのNASCインターシッペンバー制度を創設。12月から公募を始めた。この制度を活用、発展させ、新年度早々に設置したい。

※NASCインターシッペンバー制度：NAGANOスマートシティコミッション（略称：NASCIIナスク）による若者の活動支援制度。意見交換会、アイデアの事業化支援などを実施する。



スマートシティのビジョンについて若者と意見交換

問 スマホアプリの活用やキャッシュレス化も進んでいるが、誰も置き去りにしない社会の実現には情報弱者

の支援は欠かせない。スマホの使い方や行政手続き等、デジタル活用支援員による講習会や相談会を小学校区単位で開催し、誰もがデジタル技術を活用できるよう支援すべきでは

総務部長 今後ガラケーといわれる3Gが廃止され、デジタル機器が活用できるようサポートの必要がある。特に中山間地域の対策として国が認定するデジタル活用支援員や地域の人材の協力も得て講座開設を検討し、小学校区単位なども検討したい。

問 農家の安定経営を支える新たなセーフティネットとして公明党が提案した収入保険制度が二〇一九年からスタートし、周知されてきたが、補助制度を創設すべき。見解は

農林部長 収入保険制度は全ての農産物を対象として、自然災害のほか市場価格の下落など、あらゆるリスクに対応する万能型の保険で、補償内容も過去五年の平均収入の九割を下回った場合、その下回った額の九割を保証する有利な制度。本市でも積極的に加入促進し、令和4年度での補助制度創設に向け庁内で検討中。

問 二〇五〇年ゼロカーボンシティ

構築のため今後の具体策を伺う

環境部長 様々な取り組みを市民とともに推進するには脱炭素への意識を共有し、ともに行動に移せるよう、二〇五〇年ゼロカーボン宣言を发出して本市の姿勢を示すことが必要。宣言の发出は長野圏域共同で行い、本市のゼロカーボン推進事業を圏域に拡大、脱炭素を加速していく。

個人質問

新友会 西脇かおる

問 朝陽地区において、現在実施している浸水対策事業の進捗状況は

建設部長 北八幡川の抜本的な治水対策を今年度から農林部と連携して進め、局地的豪雨対策は北屋島地籍で古牧二〇号雨水幹線を整備、来年度から接続支線の水路整備を行う。

問 戸隠スキー場の利用者拡大支援として、子どもを対象にリフト料金を一定期間無料にするのはどうか

商工観光部長 将来のスキー人口を担う子どもたちと、スキー離れた親と一緒にスキーファンになってもらうことで、新型コロナの影響を受



戸隠スキー場で子どもに人気の忍者スロープエリア

けたスキー場の活性化と地域経済の回復にも有効であると考える。市長からも同様の指摘を受けており、前向きに検討していきたい。

公明党 勝山 秀夫

問 教育支援、若者支援、地方創生、少子化対策の観点から、長野市で奨学金返還支援を行ってほしい。
また、IT人材の確保のため、IT企業に特化した奨学金返還支援を実施してはどうか

企画政策部長 奨学金返還支援は、進学を望む若者たちの背中を押すこと、Uターン就職のきっかけ、若い年齢からライフデザインが描きやす



カムバック to ながのを合言葉に令和2年に東京で開催されたナガノのシゴト博

くなること、企業が必要な人材を確保できることにつながる。IT企業に特化した支援は、目的を明確にし、具体的な支援の検討を進める。

市長 奨学金返還支援は大変有効な取り組みと考えている。財源も含めて検討を進めたい。

無所属 小林 史子

問 新たに計画されている勤労者福祉施設は、健康増進や出会い、生きがい、人とのつながりといった、これからです大事にしなければいけないことを実現できていた今の施設に代わるものとしてふさわしいのか。今回の再編について、進め方や

内容を再考すべきと思うが考えは

市長 公共施設マネジメントの指針に基づいて再編の方針案を立て、広く市民の声を聴きながら進めている。本市の新たな勤労者活躍支援の要の施設として充実させていきたい。

新友会 グレート無茶

問 地域がわくわくするために大切にしたと考えることは

市長 本市に愛着と誇りをもつことがわくわく感につながる。市民の誇りを高める好循環をつくりたい。

問 子どもたちがわくわくする長野市の情報の提供は

商工観光部長 子ども向けスポットの情報を発信し、長野ファンになってもらう取り組みを推進する。

問 駅から善光寺に牛バスはどうか

市長 牛型バスの導入は難しいが、ラッピングバスの運行を予定。

問 よろず窓口を設置したらどうか

総務部長 職員の定年延長も予定しており、対応職員は様々な業務の知識をもつ長年勤務した職員が適切。

人材の確保を進め、場所や設置方法を検討する。感染症や災害など生命に関わる窓口は別に明確化する。

改革ネット 塩入 学

問 前市長があいさつ、おもてなしを大々的に展開したが、初登庁で全体を見てどう感じ、認識したか

市長 市民への親切的な対応等、職員の意識改革が進んだが、不十分との指摘もあり、先頭を切って徹底する。

問 職員とのコミュニケーション、リーダーシップへの責任と決意は

市長 私が最終責任をもつと伝え、職員の新しい発想と政策につなげる。

問 知名度を生かしたトップセールスの組み立てと内外へ情報を発信するための情報政策発信局の設置は

市長 チームワークを組んで長野市の良いものを紹介する。SNS等を使って市民や国内外に情報をつなげ、選択されるまちなりようを取り組む。

問 子育て市政日本一をめざすか

市長 子育て総合支援センターで保護者の困りごとを受けて各セクションへつなげ、不安や心配を払拭し、

子育てにやさしいまちにつなげる。

問 子どものおむつ代の検討を

市長 財源が生まれたら検討したい。

問 子育て支援十萬円の一括給付は

こども未来部長 国の動向を見定め

て方向性を決定する。

※子育て支援十萬円：国による子育て世帯への臨時特別給付金で、新型コロナウイルス感染症の長期化により影響を受けている子育て世帯を支援するため、18歳以下の児童一人当たり10万円相当の給付を行うもの。

問 丹波島橋の渋滞解消は長年の課題。長野駅東口から青木島へ新橋を架ける考えは

市長 東北地区から新橋の話も聞いている。人や物の移動の効率化のみならず、地域の生活環境改善への重



丹波島橋の交通状況（長野都市圏の新たな総合交通計画より）

要な交通課題と認識している。

共産党 黒沢 清一

問 市教育委員会は、平成31年4月に学校における働き方改革推進のための基本方針を策定した。9月議会などで、教職員の休憩時間は実質数分、休憩時間を確保すべきと質問したが、改善に向けて現在の進捗状況は

教育次長 教職員の休憩時間の確保

は課題として受け止め、研究を進めてきた。教職員の働き方改革が、教育の質の向上に資するよう、基本方針に基づき取り組みを着実に進める。

問 公共施設は地域コミュニティを確保し、地域福祉を進める拠点となる。公共施設個別計画の中で、特に利用者の多い施設については、一律削減は見直すべきでは

総務部長 個別施設計画では、全て同率で縮減を求めているのではない。今後、利用者や関係者へ丁寧な説明を重ね、理解を得られるよう努める。

新友会 松田 光平

問 市長が参議院議員時代に培った人脈や経験をどのように生かしなが

ら市政運営に臨むか

市長 参議院議員として貴重な経験を積み、政界に多くの知己を得た。

このネットワークを生かしていきたい。国に対する要望活動等を行う際にも、人脈や経験を生かしたい。

問 面的な再開発や篠ノ井駅前活性化を図るため、新たな篠ノ井地区活性化協議会の設置を再度求めるが

都市整備部長 既に住自協、長野商

工会議所篠ノ井支部及び篠ノ井商店会連合会で組織された篠ノ井地区三団体交流会が地域の課題解決に向けて活動しており、地域の活性化についても、その中で協議してもらおうと



地域活性化のため新型コロナウイルス対策をして行われた令和3年度「しののい軽トラ市」

いう選択肢もあると考える。

新友会 桜井 篤

問 市長長野高校サッカー部の全国大会出場に対し、市としてどんな支援を行っていくのか

市長 選手の皆さんが本市の代表として思う存分に力を発揮できるように、できる限りの支援をしたい。

問 二〇五〇ゼロカーボンに向けて長野市バイオマス産業都市構想をどのように推進し、展開を図るのか

環境部長 資金面、組織面の強化を図ることで、持続可能なたちで二〇五〇ゼロカーボンにつなげたい。

※長野市バイオマス産業都市構想：地産地消による持続可能なまちづくりをめざし、地域に豊富に存在する間伐木材、きのこ廃培地、食品廃棄物等を、石油に代わるエネルギー源などとして利活用を推進するため策定した構想。

問 多世代にわたる読書活動推進のためには、電子図書館の設置が有効であり、導入すべきと考えるが

教育長 電子図書館導入のメリットは十分ある。市民のより一層の読書活動推進のため、早期の電子図書館の導入について検討を進める。



立ヶ花狭窄部河道掘削工事の状況（令和3年11月末現在／千曲川河川事務所提供）

共産党 佐藤久美子

問 千曲川の流域対策は、立ヶ花狭窄部の掘削が最大の関心事。令和9年までの事業完成に向け、上下流の流域住民が相互に協力するため、遊水地事業等の情報の提供と地権者・耕作者の要望に迅速な対応を望むが

市長 国では遊水地の地元説明会を開いており、蓮遊水地は令和6年までに、上今井遊水地は令和9年までに整備を完了する予定。事業の進捗を図るため、関係者の要望や意見に対して迅速に対応し、情報については、市のホームページからも閲覧できるようリンクをはっていく。

問 選挙について、市内の長野二区はいつまで二区なのか。国への働きかけを強く求めるが

選挙管理委員長 毎年国に要望しているが、一日も早い分割解消をめざし、さらに強く要望していく。

改革ネット 鎌倉 希旭

問 放課後子ども総合プランの無償化についての考えは

市長 一部の人に受益をもたらす事業では、一定の受益者負担を求め、持続可能な事業として成立させることが健全な社会の一つの姿と考える。

問 中山間地域にアウトドアサウナの設置を求めるが

商工観光部長 飯綱高原にオープンする森の駅の指定管理者が大座法師池周辺にアウトドアサウナの設置を検討する意向がある。民間の動向に注目し地域への波及効果を研究する。

問 「078KOBÉ」のような市民参加型の地域貢献活動の内容とする民間イベントへの支援を行うことで市民の機運が高まると思うが

企画政策部長 本市においても、こ

テレビ番組にヒントを得て、楽しみながらごみを拾う地域貢献型イベント「清走中」の様子



み拾い等地域貢献活動を取り入れた民間イベントが開催されており、こうしたイベントは地域の良さを見直すきっかけとなる。どのような支援ができるか、他市の事例等も踏まえて調査、検討する。

問 長野市民病院は地域の重点医療機関として患者に寄り添った支援をすべき。中期目標のチェック体制はどのような姿勢で臨むか

保健福祉部長 市民病院評価委員会の意見を踏まえ、患者の立場に立った医療に取り組んでいるか等総合的な評価を実施し、市民病院は評価結果を業務改善のため最大限尊重している。市は患者、家族の立場に寄り添った丁寧な対応を要請していく。

新友会 箱山 正一

問 善光寺御開帳五年後の中心市街地のまちづくりについて伺う

市長 長野市は御開帳が開催されるたびに変化を遂げてきたまちであるという認識をもっている。今後のあり方としては、官民が協働して実施するまちづくりを念頭に、もんぜんぶら座の敷地利活用の具現化に向けた推進を図っていく。さらに権堂地区では、必要な環境整備やその整備手法について、地元と合意形成を図りながら検討していく。中心市街地は長い歴史の中で文化、伝統を育み、生活の中心的役割を担っており、新たな時代に対応したまちづくりを進める上で重要であるため、各計画に沿った事業の実現に向けて庁内の体制強化を図り、スピード感をもって取り組んでいく。

公明党 堀内 伸悟

問 重層的支援体制整備事業について、相談支援の現場の実態を把握し、相談支援体制のさらなる充実強化に努めるよう望むが見解を伺う

保健福祉部長 年々増加する相談業

務に加え、困難事例等に対応する相談員の負担軽減を図るため、相談支援体制の強化・充実が課題であると認識している。支援が必要な市民に的確なサービスが提供できるよう、引き続き、現場の声を十分に聴きながら、相談員が一人で悩みを抱え込むことなく、その能力を遺憾なく発揮できるように、しっかりと支えていきたい。

無所属 小泉 一真

問 市長は10月18日の討論会で二〇三〇年札幌オリンピックのそり競技以外にも長野市に招致すると述べたが実現性がなければ撤回すべきでは

市長 立候補予定者として、私の夢を語らせていただいた。

問 観光危機管理について過去に質問した。善光寺御開帳に間に合うか

商工観光部長 観光危機管理マニュアルと御開帳避難マニュアルを今議会特別委員会に示し、12月中には決定したい。

新友会 青木 敏明

問 市長のりんご・ぶどう・桃等の

トップセールスの意気込みは

市長 初夏から晩秋まで季節ごとに旬を迎える本市の果物をリレー方式でPRし、多彩な果樹の産地という特徴をアピールし、イメージアップ、ブランド形成につなげたい。生産者関係団体の皆さんと一丸となってセールの取り組み。

問 長野市が全国のりんご産地に呼びかけて、りんごサミットを開催したらどうか

農林部長 りんごは本市の農産物の顔とも言える。農産物をテーマに行われるイベントは、経済波及効果等メリットも多い。非常に夢のある提



長野県オリジナル品種のりんご三兄弟[®]。左からシナノスイート、シナノゴールド、秋映（長野県農政部提供）

案なので、主催者の一翼を担うJ-Aはもとより、日本最大のりんご産地の弘前市など、他産地の自治体と意見交換をしたい。

共産党 阿部 孝一

問 南石堂A-1地区優良建築物等整備事業は当初概算事業費四十四億円に対し、補助金は二割の八億八千万円で、一・二階が店舗、三階から十四階が住宅建設になっている。マンションの販売価格は三千万円台からで、価格は他の民間マンションと変わらず、一億円クラスのマンション販売もあつたと聞いている。六億円もの税金の投入で億単位のマンション販売は市民には理解はできないが所見を伺う

都市整備部長 補助事業の概要は総事業費約四十三億円に対し、国・県・市を合わせ約六億円。マンションの販売計画や具体的内容は民間事業者が計画することで、その具体的な販売計画についてお知らせする必要はないものと考えている。

新友会 市川 和彦

問 札幌冬季オリンピック招致活動

はスパイラル休止を踏まえ、前のめりにならず慎重に協議し協力すべき

市長 現在まで札幌市から具体的な協力要請はないが、要請があれば、できる限り協力していきたい。

問 若者の居場所として、スケートボード等二ユーススポーツ場の設置を

市長 既存施設や未利用施設を活用した施設整備の検討を進めたい。



北部スポーツ・レクリエーションパークのアクションスポーツ広場

問 地方公務員法改正で定年年齢は65歳。現場業務主体の消防職員は配置に苦慮するのは。今後の計画は

副市長 職員構成は、大きな不均衡が生じている。高齢職員の体力面を

考慮した勤務シフトや市長部局の新たな業務を創出し、持続可能な消防体制の堅持を考えている。

問 長野駅前を含むまちなかの魅力向上や快適な回遊滞留型の創出など、中心市街地活性化に向けた検討は

都市整備部長 平成29年に策定した中心市街地活性化プランにより、ハード・ソフト両面で活性化を進める。

問 インターネット投票の導入について積極的に検討するべきでは

選挙管理委員長 国で現在検討中とされ、最終的な導入時期も未定。早期実現を待望している。

問 エムウエーブ南産業用地開発について、検討状況と今後の見通しは

商工観光部長 地権者の賛同が最も大切。地権者の意見を踏まえ、事業者ニーズも慎重に見極めながら、本年度中に判断できるように取り組む。

公明党 **松井 英雄**

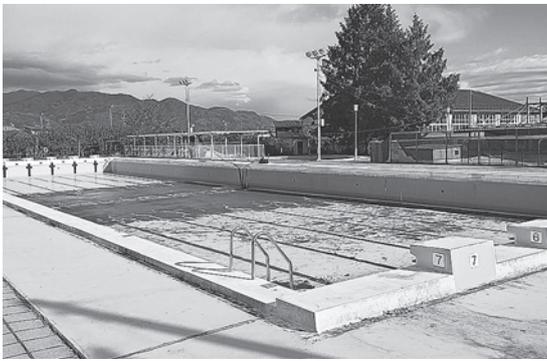
問 道路などの不具合・危険箇所を市民が二十四時間三百六十五日投稿できるアプリを導入すべきでは

建設部長 来年度から始まる市行政

D X推進計画のめざす方向性の一つである、双方向を意識した情報発信による市民とともにつくる市政の推進とも合致することから、関係部局と調整を図りながら、既存システムの活用も見据え、検討する。

問 用途廃止となった茶臼山市民プールの後利用について、オリンピック新種目の拠点にできないか

文化スポーツ振興部長 拠点化については旧茶臼山市民プールも候補地の一つとして検討していく。



後利用としてスケートボード場に改修することも検討している旧茶臼山市民プール

新友会 **三井 経光**

問 市長は変化の大きい時代に、い

かに市民の期待に応えていくのか

市長 時代の変化に合わせ、政策のアップデート、バージョンアップを繰り返しながら、健康と幸福という本質的価値を実感できるまちづくりを進め、市民の期待に応えたい。

問 若槻・あじさいの湯のこれまでの経緯と、今後の見通しはどうか

保健福祉部長 旧若槻老人憩の家は、高齢者の交流や生きがいと健康づくりの場、地域コミュニティの拠点として地元から強い存続要望があったことから、耐震補強工事を行い、魅力や快適性を増して、現在の有償



利用対象者の年齢制限がなくなり、より気軽に利用できるようになった若槻・あじさいの湯

貸し付けによる民間団体の運営に至った。当面の課題は、利用対象者の年齢制限撤廃の周知が足りないこと。高齢者以外の方にも気軽に利用してもらい、利用者の新規開拓を図り、福祉サービス等入浴以外の事業も軌道に乗ることで、経営基盤の安定が図られるものと考えられる。市も引き続き、安定的な運営に向けて支援をしていく。

問 私は今から三十年前頃、市の特定検診でがんを発見したが、現在は治っている。市のがん対策の現状は

保健所長 がん対策基本法及び国・県のがん対策計画を踏まえ、第三次長野市健康増進食育推進計画、いわゆる、ながの健やかプラン21に基づいて、がんの予防、がんの早期発見の推進などに取り組んでいる。

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録画でご覧いただけます。また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索でご覧いただけます。



(注) 12月定例会の本会議及び各委員会の会議録検索へのアップは、2月下旬以降順次行予定です。

常任委員会のうごき

総務委員会

- 令和3年度長野市一般会計補正予算には各部署において不足する時間外勤務手当の増額分が計上されているが、時間外勤務による長時間労働は、職員の身体的・精神的な負担が心配されるため、職員のストレスチェックや休暇の取得促進などにより、引き続き職員の健康管理に努めるよう要望した。また、特定の職員の負担が重くならないよう、業務の平準化等に取り組むことについても併せて要望した。
- 長野市勤労者女性会館しなのきの指定管理者の指定について、指定管理者決定後においては、用途廃止となる働く女性の家の講座が継続されるよう、引き続き関係者と調整を図ることを要望した。また、勤労者女性会館しなのきには、現在、施設利用者用の駐車場がないことから、既存の施設駐車場の開放、近隣の民間駐車場を利用した場合の割引や補助制度の創設などについても検討するよう要望した。
- スマートシティNAGANO構想について、今年10月に産学官連携組織のNASCGが設立され、今後の展開が期待される。この構想を着実に



消防団幹部との意見交換会の様子

進めていくためには、市民の理解が欠かせないので、現在策定作業を行っているスマートシティNAGANOの基本計画のパブリックコメントなどの機会を通して市民の意見を聞くこと、ホームページを使った広報や市民参加の仕組みの構築などにより、市民のスマートシティについての理解が深まるような取り組みを行うことを要望した。

●今年10月に行われた衆議院議員選挙の投票において、長野市内の特別養護老人ホームの運営者が投票干渉の疑いで逮捕された事件を受け、このようなことが二度と起こらないよう

う、さらなる啓発や庁内関係部署と連携を図るなど、再発防止に向けて取り組むよう要望した。

●請願第十七号については、全員賛成で採択すべきものと決定した。

●11月に消防団幹部との意見交換会を開催し、消防団の現状と課題や、組織及び定員の見直しなどについて意見交換を行った。

福祉環境委員会

●生活困窮世帯灯油購入費助成事業の実施について、円滑な手続きや速やかな支給を図ることはもとより、対象者に確実に助成金が行き届くよう、十分な周知、勧奨を行うことを要望した。

●長野市民病院第三期中期目標に掲げられている新興感染症等への対応について、新型コロナウイルス感染症の拡大も懸念される中、地域の核病院としての機能を十分に発揮できるよう要望した。また、地域包括ケアシステム推進体制の充実については、患者の在宅復帰等に向けた寄り添った支援など、より積極的な対応を図り、市民病院が所期の目標を達成できるよう市として指導していくことを要望した。

●令和4年度から長野市豊野老人福

祉センターの指定管理者として指定される豊野地区住民自治協議会は、当老人福祉センターを地域福祉活動の拠点として運営していく等の提案を示している。令和元年東日本台風災害の被災地という特殊事情を抱える中、被災者と手を取り合い、老人福祉センターを核として一体的に「福祉のまち」とよの」を展開、実施していくことが期待される。ところが、より一層地域住民の福祉活動の推進に資するものになるよう、市としても十分支援していくことを要望した。

●放課後子ども総合プラン事業施設の利用時間の延長について、来年度の入学児童を含めた利用時間延長のニーズを十分に把握し、地域の実情に応じた柔軟な対応を含め、検討するよう要望した。

●長野市がリーダーシップをとり、長野地域連携中枢都市圏の九市町村共同によるゼロカーボンシティ宣言の発出を検討しているとのこと。この宣言によって、市民一人ひとりに脱炭素社会の実現というメッセージが伝わり、市民一人ひとりの行動の変化につなげていくことが重要であると考え、ことから、脱炭素に向けた意識を共有し、ともに行動に移し

12月定例会では、付託案件の審査のため、4常任委員会が開催され、議案審査及び各所管事項について質疑応答、意見、要望がなされました。主な内容は次のとおりです。
(請願については、4頁の審議結果一覧を参照ください。)

でもらえるよう、市民への啓発について特段の配慮を行うことを要望した。

経済文教委員会

● 新型コロナウイルス感染症対策事業について、経済対策や事業者支援を行う地域応援・元氣回復プランを実施することだが、本事業の実施にあたっては、事業者等に対してキャッシュレス決済導入について丁寧な説明を行うとともに、事業の対象者について、タクシー事業者も対象となるよう検討すること、また、事業の推進にあたっては、市内の商工関係部署と公共交通関係部署の連携を深めていくよう要望した。

● 農業者への支援について、市では、収入保険加入に対する補助制度の創設に向けての検討や、収入保険の加入条件である青色申告切り替えのための研修会の実施、また、販路拡大に向けての取り組みや、凍霜害等による被害果を給食食材として採用する被害果支援など、様々な施策に取り組んでいるとのこと。引き続き、長野市産農作物の販路拡大や地産地消の推進といった需要創出に向けた取り組みを行うとともに、収入保険の加入促進等、農業経営の安定化に

向けた取り組みなど、幅広く農業者の支援に取り組みよう要望した。

● GIGAスクール構想によるタブレット端末の活用について、現在、長野市内の市立小・中学校においては、児童・生徒に一人一台のタブレット端末の配備が完了し、各教科の学習等に活用するとともに、不登校ややむを得ず登校できない子どもたちの学習支援等にもタブレット端末を活用しているとのこと。一方、タブレット端末の持ち帰りについては、感染症等による学級閉鎖などの緊急時に持ち帰って活用する準備は整っているものの、通常時の持ち帰りについては、現在、モデル校での検証等所要の準備を進めているとの説明があった。

タブレット端末の活用について、教職員の研修や情報モラル教育を一層進めるとともに、家庭における通信環境等の課題を整理し、児童・生徒が家庭学習でタブレット端末を活用できる環境を早急に実現するよう要望した。

● 請願第十八号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

建設企業委員会

● 長野県、上田市、千曲市、坂城町

と本市による上田長野地域水道事業広域化研究会において、広域化の最も高い効果が期待できる施設整備計画、災害時の危機管理対策、組織体制などについてさらなる検討を進め、財政シミュレーションを実施し、財政的な効果等を整理の上、今年度内に広域化の方向性を示す報告(案)を取りまとめいく予定との説明があった。

委員会としても、現地を視察するとともに水道事業の広域化の検討状況を把握する必要があるとの意見があった。また、議会相互の連携を図り、研究を進めていく必要があると考えられることから、議会相互の連携が図れるように、調整の機会を設定するよう要望した。

● 豪雨による地滑りの影響により、市道飯森新橋線においては全面通行止めの措置が続いており、また、対岸の国道一九号においては片側交互通行が続いている。双方に通行規制がかかっていることから、地域住民にとっては、通勤時間帯に発生する交通渋滞など、大変不便な状況が続いている。

今後、降雪による深刻な渋滞の発生や渋滞時における除雪作業の課題など、日常生活へのさらなる影響が

懸念されることから、道路の混雑具合や迂回路の状況、地滑り対策工事の進捗など、地域住民に必要な情報を公開するよう要望した。

また、地域住民の生活を守るために、安全・安心を図りながら、市道においては、抜本的な対策を検討の上、早期復旧を図るよう要望するとともに、国道においては、国に早期に規制を解除し、全面通行開放を働きかけるよう要望した。

● 市では、通学路の安全対策として、毎年、学校関係者・警察等と合同点検を行い、危険が見られる箇所があれば、計画的に改修を進めているとのことだが、他の地域においては、子どもたちが犠牲となる悲惨な自動車事故などが起きていることから、通学路整備などに予算を優先的に配分し、早急に安全対策を講ずるよう要望した。

12月定例会中に、市川和彦総務委員会委員長から委員長辞任願が提出され、同委員会において許可されたことに伴い、新たに松井英雄副委員長が委員長に、鎌倉希旭副委員長が委員長に、それぞれ選出されました。

特別委員会のうごき

災害対策等調査研究 特別委員会

本委員会は、令和2年9月に、激甚化する災害に対応するために設置され、令和3年9月からは、新たな委員構成のもと、感染症を調査項目に加えて調査・研究を進めている。

これまで委員会を三回開催し、危機管理防災課の危機管理に対する取り組み及び課題を確認するとともに、善光寺御開帳開催中に地震が発生した場合を想定した、善光寺御開帳避難マニュアル(案)について調査した。また、保健所による新型コロナウイルス感染症への対応及びワクチン接種の状況について調査し、市の取り組みを確認した。さらに、令和元年東日本台風災害からの復旧復興状況について進捗を確認した。

今後は、避難所を開設した際の運営マニュアルの整備や、避難行動要支援者に対する対応等を調査、研究していく。

観光戦略調査研究 特別委員会

本委員会は、ポストコロナの活性化策として、広域連携、スポーツコンベンション、地域のまちづくり等を踏まえた観光戦略について、調査・研究を行うために、令和3年9月

に新たに設置された。

11月に開催した委員会では、コロナ禍における市内観光の動向や、長野市で策定中の次期長野市観光振興計画(素案)について調査した。

12月に開催した委員会では、参考人を招致し、ながの観光コンベンションビュローの取り組みについて調査するとともに、長野市観光危機管理マニュアル(案)及び善光寺御開帳避難マニュアル(案)について調査した。

今後の委員会では、御開帳後の誘客事業や観光需要喚起策、スポーツコンベンション等について調査・研究を進めていく。

公共交通対策調査研究 特別委員会

本委員会は、交通弱者への配慮の観点を含めた公共交通について調査研究するため、令和3年9月に新たに設置された。

これまでの委員会では、公共交通の現状と中心市街地循環バス「ぐるりん号」の運賃改定について調査を行った。ぐるりん号について、ニーズ把握の大切さなどについて意見があった。担当課からは今後も地域の声を聞きつつ、官民協調を図りながら運行していくとの答弁があった。

今後の委員会では、公共交通のま

ちづくりへの活用、地域公共交通活性化再生法の改正、Maas等について調査・研究を進め、本市の公共交通に生かせる具体的な方策について調査・研究を進めていく。また、その具体的な方策について、様々な関係者との意見交換を行っていくこととしている。

農林業振興対策 特別委員会

本委員会は令和3年9月に新たな委員構成となり、9年目を迎えた。

11月の委員会では、農業関係については、耕作放棄地の現状や農業後継者対策の現状について、また、野生鳥獣被害防除対策及びジビエ振興について調査し、林業関係については、森林環境譲与税を財源に今後市が積極的に進めていく森林整備事業について調査した。

12月の委員会では、10月に全戸配布によって行った森林整備に関するアンケート結果を調査した。森林がもつ山崩れなどの災害を防止する働き、二酸化炭素を吸収する地球温暖化防止への働き、水資源を蓄える働きに、森林所有者でない市民からも期待が高いこと、今後、市を通して林業事業者へ経営や管理を依頼したい森林所有者が、回答者の七五%を占めていることなどを確認した。

3月市議会定例会 会議予定

- 2月24日(木) 本会議(会期の決定/議案上程)
- 25日(金) 3月1日(火) 休会
- 3月2日(水) 本会議(一般質問(代表))
- 3日(木) 本会議(一般質問(代表・個人))
- 4日(金) 本会議(一般質問(個人))
- 5日(土) 6日(日) 休会
- 7日(月) 本会議(一般質問(個人))
- 8日(火) 本会議(一般質問(個人)/議案質疑等)
- 9日(水) 11日(金) 委員会(総務経済文教)
- 12日(土) 13日(日) 休会
- 14日(月) 16日(水) 委員会(福祉環境・建設企業)
- 17日(木) 21日(月) 休会
- 22日(火) 本会議(採決)

- 日程案は変更となる場合があります。
- 「請願」「陳情」を希望する人は開会日まで提出してください。
- 傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。マスクの着用をお願いします。
- 本会議：第一庁舎8階(傍聴席入口)
- 委員会：第一庁舎7階(議会事務局)
- 乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。(いずれも無料)

編集後記

昨年10月31日投開票の長野市長選挙で萩原健司新市長が誕生し、就任後初めての12月定例会では、新市長の公約や市政運営の方針などについて、活発な議論が行われました。

市議会だよりは今号から新メンバーでの編集となりますが、これまで以上に、市民の皆様が読みたくなる市議会だよりをめざし、研究してまいります。市民の皆様のご意見やご感想をお待ちしております。

- 委員 松井英雄 東方みゆき 和田一成
副委員長 桜井篤 箱山正一 加藤英夫
編集 小泉一真 佐藤久美子



長野市議会

検索

長野市議会ホームページ
<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/gikai/>
 E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

長野市議会事務局

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
 TEL: 224-5057 FAX: 224-5105